

「三派鼎立」期における
軟派出版の全貌

島村 輝

『叢書エログロナンセンス』は、戦前ジャーナリズム界の異才・梅原北明を中心とした「珍書・奇書」類のうち、発刊当時の事情やその後の年月の経過によって閲覧・入手の困難となった書物、とりわけ多く「発売禁止」等の措置を受けた雑誌類を中心に、復刻刊行しようとするものである。シリーズに先行した「変態・資料」を併せ、これまで三期にわたる刊行で北明が大きな役割を果たした雑誌はほぼ網羅したといえる。

今回の第Ⅳ期では、一時は北明と行動をしながらその後袂を分かった出版ジャーナリストたちの手によって刊行された、「奇書」「古今桃色草紙」といった雑誌群を復刻する。文芸市場社（梅原北明）・文芸資料研究会編輯部（上森健一郎）・文芸資料研究会（福山福太郎）による「三派鼎立」期とされる軟派出版の分裂・消長の底流に、どのような人脈が存在していたのかを明らかにすることで、当時のアウトサイダー的な出版人・知識層が目論んだ、サブカルチャー領域からの権力批判、文明批評の可能性と限界についても、考察の新たな糸口が見いだされることが期待できると考える。

（しまむら・てる フェリス女学院大学教授）

昭和初期軟派雑誌集成の刊行にあたって
――二〇年間の軌跡

大尾 侑子

『叢書エログロナンセンス』の第Ⅰ期として、雑誌「グロテスク」の復刻が実現したのは二〇一五年のこと。そこから遡ること約一〇年、同シリーズの先駆けとなる雑誌「変態・資料」（二〇〇六）、「世界エロティシズム文学 歴史と解題」（二〇〇六）が刊行された。いずれも戦前昭和における「好色出版の帝王」、梅原北明が関与したものである。復刻される以前、これらの雑誌や書籍を入手し所有できたのは、蒐集家が古本マニアくらいだっただろう。通販サイト「日本の古本屋」が本格的に始動する二〇〇〇年代まで、稀覯史料は地道な古書店めぐりか、即売会で、拾う、ほかなかった。二〇〇五年刊行の「コレクシオン・モダン都市文化 エロ・グロ・ナンセンス」も含めるならば、今回の第Ⅳ期に至る二〇年間は、そうした障壁を少しずつ取り除き、稀覯史料へのアクセスを整える、開拓の軌跡であったと言える。

今回の第Ⅳ期では、北明の周辺を彩った出版人らによって刊行された雑誌群を集成した。第一回配本は、北明と袂を分かった福山福太郎による「奇書」、および上森健一郎を中軸とする「古今桃色草紙」を収録。「奇書」は佐藤紅霞や藤澤衛彦ら文藝派を集め、「古今桃色草紙」は花房四郎（中野正人）、宮本良らを編輯に据え、文芸資料研究会編輯部による起死回生の一手であった（いずれも発売号を含む）。

第二回配本は「変態・資料」の後継誌をうたい、鳥の子紙刷が目を惹く「変態黄表紙」、竹内道之助の風俗資料研究会による「風俗資料」、そして酒井潔の個人誌として伊藤竹酔の国際文獻刊行会から刊行された「談奇」を収録する。

第三回配本は、「風俗資料」廃刊後に「高級エロ雑誌」として創刊され、丸木砂土や原比露志、岡田甫、酒井潔らが筆を執った「デカメロン」を収録する。以上の雑誌群を往還することで、戦前軟派出版界の最期がありありと浮かび上がってくるはずである。

雑誌が紡いだ作り手と会員読者の紐帯に想いを馳せ、知の豊穡さを体感しよう。そして出版弾圧の痕跡を刮目し、新たな「戦前」とも言われるような緊張をはらむ時代を生きた我々に向けられた、過去からの警句にも耳を傾けよう。

（おおび・ゆっこ 東京経済大学准教授）

昭和初期 軟派雑誌集成 全16巻

【監修・解題】島村 輝／大尾侑子 ●揃予価：本体347,000円＋税 ISBN978-4-8433-6832-9 C3390 A5 判上製・カバー

昭和のエログロナンセンスを彩る重要な雑誌群を復刻。佐藤紅霞や藤澤衛彦ら、文藝派を集めた『奇書』。花房四郎（中野正人）、宮本良ら、文藝資料研究会編輯部による『古今桃色草紙』。『変態・資料』の後継誌をうたった『変態黄表紙』。竹内道之助の風俗資料研究会による『風俗資料』、そして酒井潔の個人誌と『談奇』。『風俗資料』廃刊後に創刊され、丸木砂土や原比露志、岡田甫、酒井潔が筆を執った『デカメロン』などの軟派雑誌を集成する。

第1回配本 全6巻 揃定価：本体111,000円＋税 ISBN978-4-8433-6833-6 C3390 2024年10月刊行予定

1◆『奇書』Ⅰ（第1巻第1号～第1巻第5号）	定価：本体15,000円＋税	ISBN978-4-8433-6834-3 C3390
2◆『奇書』Ⅱ（第1巻第6号～第1巻第7号・臨時増刊号）	定価：本体17,000円＋税	ISBN978-4-8433-6835-0 C3390
3◆『奇書』Ⅲ（第2巻第1号～第2巻第3号）・解題	定価：本体16,000円＋税	ISBN978-4-8433-6836-7 C3390
4◆『古今桃色草紙』Ⅰ（第1巻第1号～第1巻第3号）	定価：本体19,000円＋税	ISBN978-4-8433-6837-4 C3390
5◆『古今桃色草紙』Ⅱ（第1巻第4号～第1巻第6号）	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6838-1 C3390
6◆『古今桃色草紙』Ⅱ（第1巻第7号・第2巻第2号・第2巻第4号）・解題	定価：本体24,000円＋税	ISBN978-4-8433-6839-8 C3390

第2回配本 全4巻 揃予価：本体68,000円＋税 ISBN978-4-8433-6840-4 C3390 2025年2月刊行予定

7◆『変態黄表紙』	予価：本体26,000円＋税	ISBN978-4-8433-6841-1 C3390
8◆『風俗資料』Ⅰ	予価：本体14,000円＋税	ISBN978-4-8433-6842-8 C3390
9◆『風俗資料』Ⅱ	予価：本体16,000円＋税	ISBN978-4-8433-6843-5 C3390
10◆『談奇』	予価：本体12,000円＋税	ISBN978-4-8433-6844-2 C3390

第3回配本 全6巻 揃予価：本体168,000円＋税 ISBN978-4-8433-6845-9 C3390 2026年9月刊行予定

11～16◆『デカメロン』Ⅰ～Ⅵ 揃予価：本体168,000円＋税 ISBN978-4-8433-6845-9 C3390

叢書エログロナンセンス

第Ⅰ期 **グロテスク** 全10巻＋補巻

[監修・解説] 島村 輝

●揃定価：本体207,000円＋税 ISBN978-4-8433-4979-3

第Ⅱ期 **文藝市場／カーマシヤストラ** 全5巻

[監修・解説] 島村 輝

●揃定価：本体83,000円＋税 ISBN978-4-8433-4852-9

第Ⅲ期 **『談奇党』『獵奇資料』** 全4巻

[監修・解説] 島村 輝

●揃定価：本体54,800円＋税 ISBN978-4-8433-5307-3

変態・資料 全5巻

●揃定価：本体105,000円＋税 ISBN978-4-8433-2186-7

コレクション・モダン都市文化 15

エロ・グロ・ナンセンス

[編集] 島村 輝 [監修] 和田博文

●定価：本体18,000円＋税 ISBN978-4-8433-1543-9

書誌書目シリーズ 76

世界エロティシズム文学 歴史と解題 全3巻

[監修・解説] 島村 輝

●揃定価：本体96,000円＋税 ISBN978-4-8433-2051-8

ゆまに書房 YUMANI SHOBOUTSUKU		〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL .03 (5296) 0491 FAX.03 (5296) 0493 http://www.yumani.co.jp/ e-mail eigyou@yumani.co.jp	
ご注文書 お名前 お住所	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491／Fax.03(5296)0493		取扱店 TEL ()
	昭和初期 軟派雑誌集成 全16巻 ☐ 第1回配本・全6巻 ☐ 第2回配本・全4巻 ☐ 第3回配本・全6巻		
TEL ()		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	

昭和初期 軟派雑誌集成

監修・解題 ▲島村 輝 フェリス女学院大学教授 大尾 侑子 東京経済大学准教授

佐藤紅霞や藤澤衛彦ら、文藝派を集めた『奇書』。花房四郎（中野正人）、宮本良ら、文藝資料研究会編輯部による『古今桃色草紙』。『変態・資料』の後継誌をうたった『変態黄表紙』。竹内道之助の風俗資料研究会による『風俗資料』、そして酒井潔の個人誌と『談奇』。『風俗資料』廃刊後に創刊され、丸木砂土や原比露志、岡田甫、酒井潔が筆を執った『デカメロン』などの軟派雑誌を集成。

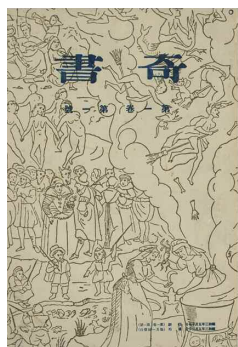
昭和のエログロナンセンスを彩る
重要な雑誌群を復刻。

ゆまに書房

全16巻

第一回配本・収録内容

第1巻



▼「奇書」第一巻第一号
（昭和三年五月）
「近世堕胎文献考」藤澤衛彦／「女人秘事」北野博美／「性的小説」佐々木指月／「亞刺比亞奇書 老人若返り法」佐藤紅霞

▼「奇書」第一巻第二号
（昭和三年七月）
「欧米珍書解題（其）」（ジエエムス・グリコネット）／「近世堕胎文献考」藤澤衛彦／「ボルチョン美女傳」愁風草庵主人／「変態魔術考」礼讃／大野卓／「劇場隠語考」石角春之助／「亞刺比亞奇書 老人若返り法」佐藤紅霞

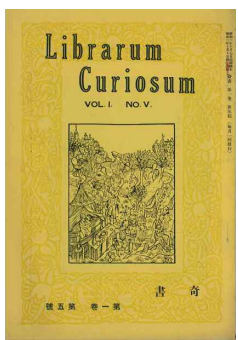
▼「奇書」第一巻第三号
（昭和三年七月）
「デカメロン画譜」／「好色猥褻話」藤澤衛彦／「性的技巧の医学的考察」浪華醫人／「船頭考」石川巖／「東西売淫雑考」松岡定治／「CONTE EROTIQUE」佐々木指月／「ツレエヌ情痴記」愁風草庵主人／「映画に現れた情痴の描写」二斗無酒／「造化玉手箱の披露」小山鬼面子／「亞刺比亞奇書 老人若返り法」佐藤紅霞／「二夫一婦主義」北野博美／「近世堕胎文献考」藤澤

▼「古今桃色草紙」第一巻第三号
（昭和三年九月）
「近代日本好色文学考（三）」斎藤昌三／「軟派・版画・師宣」大曲駒村／「裸古断章」木村嘉次／「我が国に於ける性欲観の変遷」綿谷摩耶火／「唐模様彩変声食（支那）林益三」／「女難（アメリカ）J・O・ベエカア 結城光男訳」／「死の疑侍（アラビヤ）エリ・エル・ムナシユ 島貫光子訳」／「稲妻お春たあ妾のこと」花柳はるみ／「酒谷讀礼 青桐堂主人」／「裸になつた築波雪子」つだ・ぬまを／「男読むべからず（ナンセンス）」／「あら・よし・ねえな（ナンセンス）」／「桃色草子」／「映画恋慕調（三）」縣龍之介／「ダンス病熱」藤みだる／「足を噛むモダン・ガール」綿貫六助／「苔を持つキュービッド」ザッヘル・マツホ作 八代清夫訳

▼「古今桃色草紙」第一巻第四号
（昭和三年十月）
「近代日本好色文学考（四）」斎藤昌三／「吉彌考」大曲駒村／「艶道通

衛彦／「文学に於ける性的象徵主義」アルバート・モーデル

▼「奇書」第一巻第四号
（昭和三年九月）
「好色猥褻話」藤澤衛彦／「江戸文芸と男色」石川巖／「上海の江上に見る女性」後藤朝太郎／「精神分析で見露はさる幽霊の正体」矢部八重吉／「小説で読んだエロティズム」畑耕一／「性的映画凡観」袋一平／「軟派漫談云々」藤澤・北野・佐藤・二斗・大野／「近世堕胎文献考」藤澤衛彦／「変態今昔物語」正宗狂水／「黒墨庵主人／小内鬼面子」／「文学に於ける性的象徵主義」アルバート・モーデル／「欧米珍書解題（其）（二）」



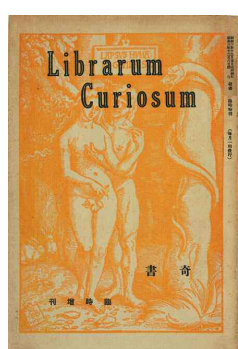
▼「奇書」第一巻第五号
（昭和三年十月）
「好色猥褻話」藤澤衛彦／「隠號考」尾崎久彌／「貞操帯と老老鏡」佐藤紅霞／「川柳絵局生島」大曲駒村／「近代恋愛の表情術」畑耕一／「談猿談玩具箱」正宗狂水／「被鉄切映画考」袋一平／「艶聞軟派雑考」水川碧人／「酔餘微妙和酒閑談」松下潤作／「鈴の念行」小内鬼面子／「検徴法実地当時の珍文」大野卓／「時花何だ一節暖りの分布」藤澤衛彦／「十返舎」九作／「教訓相模草」石川巖／「文学に於ける性的象徵主義」アルバート・モーデル

▼「古今桃色草紙」第一巻第五号
（昭和三年十一月）
「近代日本好色文学考（五）」斎藤昌三／「女性艶姿考（一）」綿谷摩耶火／「笑府」南江雨／「江戸文化の潰爛寸政」金谷完治／「変態痴人傳（二）」山中一之／「少年期のピアズリ」南江二郎／「追討上森いち子夫人」／「W・C戯談」原比露志／「恋愛は永遠に危険なり（漫画）志摩牧夫」／「そね・ど・えどうな（ナンセンス）」山内・夫／「桃色草子」／「娘々祭傳奇（支那）林益三」／「結婚初夜の悲劇（日本）草川章」／「モンマルトル（二）」フランス・フランシス・カルコ 八代清夫訳／「ある夜の始皇 橋爪彦七」／「太陽殺人綺談」宮本良

▼「古今桃色草紙」第一巻第六号
（昭和三年十二月）
「近代日本好色文学考（六）」斎藤昌三／「女性艶姿考（二）」綿谷摩耶

▼「奇書」第一巻第六号
（昭和三年十一月）
「舞踊風韻」永田龍雄／「川柳卑娼考」大曲駒村／「江戸城大奥の女」横井春野／「南北の濡れ場」渥美清太郎／「銀幕接吻の真相」二斗無酒／「奈翁皇帝情痴譚」破琴莊主人／「軟派小咄選」佐藤志摩太郎／「吉原投込草」石角春之助／「妖怪画の構成」藤澤衛彦／「伝説より見たる支那の妖怪」淡沢青花／「文学に於ける性的象徵主義」アルバート・モーデル

▼「奇書」第一巻第七号
（昭和三年十月）
「好色猥褻話」藤澤衛彦／「小咄本雑考」尾崎久彌／「支那乾菜に見る奇習」後藤朝太郎／「猥談 人相学漫談（二）」町子房／「不思議な話」富岡誠川／「川柳肉感考」色鬼聖人／「変態性慾者と刑囚の性的行為」市場櫻郎／「留坪薩克」の話／植原路郎／「江戸城大奥の女（三）」横井春野／「文学に於ける性的象徵主義」アルバート・モーデル／「乳房美崇拜」佐藤紅霞



▼「奇書」臨時増刊号
（昭和三年十一月）
「世界艶書目録並改題」佐藤紅霞／「日本艶本目録」大野卓／「歌麿前後本解題」封爵少史／「世界陰毛奇

▼「古今桃色草紙」第一巻第七号
（昭和四年一月）
「明治好色文学考」小島徳彌／「女性艶姿考（三）」綿谷摩耶火／「大阪の胃腸」イトウ・ケン／「即席結婚川崎長太郎／「銀座土人（漫画）安泰」三登の浪漫／「加藤由蔵」／「サンサーの話」小田久子／「モダンガールとハガキ」榛葉紅春／「唇を覗く男」岩野薫／「お葉津」伊藤恣／「カボチャの僧」林益三／「ボウ・ストラタデム」ザ・フランク・オア 木村嘉次／「舞踊の性的考察」金谷完治／「若き日の悩み」青山俊文／「最も勇敢なる結婚式（漫画）志摩牧夫」／「83センチメートルの冒険（二）」マ・アルナック 繁村長孝／「エロチックブックから」あさを／「明治狂言書見」まびび／「恋の頌歌」堀江眞鯉夫／「霧の愛人」安藤全郎／「岐阜の夜桜」綿貫六助／「木馬 戯曲」菅原寛／「眞赤な口火の眼 松田重太郎／「妻の心配（戯曲）渡邊素舟／「上方俗言」忘有閑散人

▼「古今桃色草紙」第一巻第七号
（昭和四年一月）
「明治好色文学考」小島徳彌／「女性艶姿考（三）」綿谷摩耶火／「大阪の胃腸」イトウ・ケン／「即席結婚川崎長太郎／「銀座土人（漫画）安泰」三登の浪漫／「加藤由蔵」／「サンサーの話」小田久子／「モダンガールとハガキ」榛葉紅春／「唇を覗く男」岩野薫／「お葉津」伊藤恣／「カボチャの僧」林益三／「ボウ・ストラタデム」ザ・フランク・オア 木村嘉次／「舞踊の性的考察」金谷完治／「若き日の悩み」青山俊文／「最も勇敢なる結婚式（漫画）志摩牧夫」／「83センチメートルの冒険（二）」マ・アルナック 繁村長孝／「エロチックブックから」あさを／「明治狂言書見」まびび／「恋の頌歌」堀江眞鯉夫／「霧の愛人」安藤全郎／「岐阜の夜桜」綿貫六助／「木馬 戯曲」菅原寛／「眞赤な口火の眼 松田重太郎／「妻の心配（戯曲）渡邊素舟／「上方俗言」忘有閑散人

譚一佐藤紅霞／「古医書に見えた性問題 横井春野」／「デリカシー要求」正宗狂水／「新横濱暗黒界縦横記」赤坂新助／「夫人の性的不能」Willehn Stekel

▼「奇書」第一巻第八号
（昭和四年二月）
「北国順礼記解嘲」藤澤衛彦／「性的技巧の医学的考察」浪華醫人／「小咄本雑考」尾崎久彌／「基督教の説く「生命の門」に就て」瀧本二郎／「続デリカシー要求」正宗狂水／「映画人秘聞漫談」覆面居士／「性的方面から見た「不思議な話」」富岡誠川／「町絵師筆禍覚帳（二）」大曲駒村／「母権と乱倫」横井春野／「細彦／「能の面縁記」横井春野／「細民の性的行為と悪女の恋愛」市場櫻村／「性的迷信と巫女妄想」佐藤紅霞

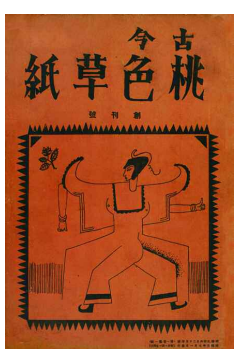
▼「奇書」第一巻第九号
（昭和四年三月）
「続好色猥褻話」藤澤衛彦／「性的魔術と恋愛娯楽」佐藤紅霞／「性器を利用する巫術」中山太郎／「町絵師筆禍覚帳（三）」大曲駒村／「アナンガラガの梵文原典を解説する」泉芳環／「活躍舞台より見たる欧米人の性業婦人」瀧本二郎／「女角力考」田中香涯／「蒼浪樓漫話（二）」岡田蒼溟／「大阪賤漫話（二）」好洞主人／「蛇身の女の恋」市場櫻村／「随筆とこうど」村上杏子／「ハレム紅闇話（二）」皆川美彦

▼「奇書」第一巻第十号
（昭和四年四月）
「続好色猥褻話」藤澤衛彦／「色里歌

▼「古今桃色草紙」第一巻第十号
（昭和四年四月）
「変態座敷俄雑考」綿谷摩耶火／「薬法研究の道」廣待兼次郎／「百馬鹿調帳」石角春之助／「暗夜恋抄」詩賦野梧郎／「私の好きな女、嫌いな女」川路柳江、直木三十五、長谷川伸、高須奉次郎、伊藤松雄、繁村長孝、河村昌二、二斗無酒、金谷完二、田邊耕一郎、小島徳彌、綿貫六助、伊藤竹醉、藤澤衛彦、山内房吉、小泉游子、岡田光一郎、池田文痴庵、綿谷摩耶火、北村小松、畑耕一、茅崎浪夫、萩原恭次郎、横瀬夜雨、狩野鐘太郎、渡邊素舟、尾崎久彌、小林操、島東吉、藤枝丈夫、萩原朔太郎、菅原寛、宮尾しげ男、生方敏郎、青山俊文、梅原北明、宮本良、西谷操、川崎長太郎、渡邊庫輔／「痴人の手帳より」夢路三郎／「83センチメートルの冒険」マ・アルナック 繁村長孝／「微笑小咄類選」海老原貝之助／「近代欺瞞抄」平田啓二／「按摩の竹さん」堀江眞鯉夫／「夜を行く男」青山俊文／「泰西藝術珍品（キツス）」「シャツチョコ立」・「ダンス」・「ピアノ」／「山の恋と海の恋（漫画）安泰」／「桃色草子」／「美しき都バーミンガム」美吉寅二／「うはすり」山中一之／「牢獄の異変」君塚俊三

※第一巻第三号は休刊

謡文献資料」石川巖／「雪隠奇習」後藤朝太郎／「珍奇二書」尾崎久彌／「町絵師筆禍覚帳（三）」大曲駒村／「光る怪奇物」古川城／「想嫁風姿」好洞主人／「随筆ところどころ」村上杏子／「ハレム紅闇話（二）」皆川美彦



▼「古今桃色草紙」第一巻第十一号
（昭和三年七月）
「近代日本好色文学考（七）」斎藤昌三／「乱交故紙裏貼装」綿谷摩耶火／「人間論」五十沢二郎／「軟文書志散見」南江二郎／「映画恋慕調」縣龍之介／「愛経全巻の総説」泉芳環／「ともお久しぶり（漫画）野村英夫」／「古今桃色草子」同人／「現代艶書哲学講座」青山俊文／「くそを食ふ男」仲小路春雄／「はアチやん（変態男子訪問記）片岡直夫／「性欲市場罪悪秘史」岡達陽／「驢性の姪」安東優／「特別読物」／「1恋の手練」ザッヘル・マツホ作 八代清夫訳／「2ハルビン劇場事件」野川隆

▼「古今桃色草紙」第一巻第十二号
（昭和三年八月）
「近代日本好色文学考（八）」斎藤昌三／「人間論（二）」五十沢二郎／「誹諧キツス考」綿谷摩耶火／「首・胴・手・足」シンクレア作 益本重雄訳／「古今浅草譚」石角春之助

▼「古今桃色草紙」第二巻第四号
（昭和四年四月）
「なんせんす・あと・ほふむ」嫌ぢやありませんか」渋谷清一／「心臓の鼓動」杉田三太郎／「耳に受けた金剛勲章」渋谷修／「悪は友を凶暴にせり」島貫義男／「君と逢はねばさびしこの春」武井哲次郎／「不良少女研究（二）」出口安二／「浅草公園学講座（第壹講）乞食」石角春之助／「説教強盗偵偵悔録」表木松吉／「説教の正体は」／「國枝太郎、上司小剣、田村西男、山田麒麟太郎、畑耕一、戸川貞雄、北村小松、福田正夫、高須芳次郎、小酒井不木、川路柳虹、安成二郎、大森敏歩、北見貞男、百田宗治、沖野賢三、益本重雄、青山俊文、西谷操、岩野薫、宮本良／「ラウレター藝術考」池田文痴庵／「接吻学（図解写真通信教授）」益本蘇川／「日本秘案考」廣待兼次郎／「シネマ・スタアの卅時代」／「噂の女（エナイテッド）」宮本良／「アビーの白ばら（パラマウント）」浅尾八十一／「情炎の美姫」フアリス・ト・ナショナル社／「青山俊文」／「百万長者」ウィナー・ブラザース社／「岩野薫」／「あたしの秘密日記から」アリス・ホワイット／「コリナム・アに泊あり」ウイリアム・エ・サイタ／「ウォードヴィルに就いて」内田岐三雄／「古今桃色草子」／「特種ユーモア撰集」／「禿げ頭に毛が生える時」生方敏郎／「青春焦燥曲」原比露志／「すとりとーと・ぼおい断片」岡田光一郎／「一輪の野菊」綿貫六助／「モダン・ガールと手袋」柳家三語楼／「江戸軟本評解 第一回」変通軽井茶話」山崎麓／「編輯後記」／「南柯書院 創立のお知らせ」



軟文書志散見

南江二郎



軟文書志散見など、大きく題したが、専ら奇観本珍録を蒐集してゐるのでもなければ、事實さうした熱心さも豊富な購買力も持たない私が、諸君の興味性を誘起せしむるにやまないやうな「ゾロ・オグ・ラ・ファイ」しか綴れさうな筆がない。即ちこの拙文は、堂々たる古本屋。まだ見た事もない掘り出しもの、その価値の高低はともかくとして、を特に紙屑屋が拾ひ出す程度のすば素人の散見である。少し毛色の變つたものがあつて、とすぐ發賣禁止になつたり、本文にやたらに〇〇を入れたりしながら、ル・リヴル・ダ・アムール・書籍が佛原文故にか、公然と大書店で窺かれてゐると云ふとても變てこな世の中だ。この程度の駄文、否、散見



（七十七世紀のツイド調銅版畫）

本文見本

適宜縮小してあります。